DPASS 拡張ユニット

SH220-J-O

取扱説明書

このたびは、DPASS 拡張ユニットをご購入いただきまして誠にありがとうございます。

1. ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、内容を理解してからご使用下さい。
2. お読みになった後も、お手元に置いてご使用下さい。

P0-140401-00(SH220-J-O)

1. 目次

1. 目次 2
2. 概要 3
3.安全上のご注意 4
4.構成部品 12
5.各部の名称 14
  5.1.正面 14
  5.2.上面 16
  5.3.下面 17
  5.4.側面 18
6.LCD 画面表示＆操作 19
7. 設定 24
8.スイッチ設定一覧 36
9.接続方法 38
  9.1.SH210-J（CATV 受信端末）との接続 38
  9.2.SH200-J（IPv4 受信端末）との接続 42
  9.3.外部機器との接続図（例） 46
10.仕様 48
11.保証書 49
12.保証規定 50
13.その他 51

2. 概要

本製品は、ドリームウェア社製受信端末親機（SH200-J(IPv4 受信端末)/SH210-J(CATV 受信端末))(以下、受信端末）からの緊急地震速報（予報）演算結果（到達予測震度と猶予時間）データを受け、任意条件で外部接続接点を動作させせることが出来ると共に、放送設備に対して音声出力が出来るユニットです。

● 特徴として

- 受信端末の発報と同時に出力接点 4ch と音声出力 1ch の動作が可能。
- 発報開始時だけでなく、発報終了時、キャンセル報受信時、いずれにも接点出力をするように設定が可能。
- 防災音声の発報にも対応し、音声出力と接点出力をするように設定が可能。
  (SH210-J 接続時のみ）
- 配信テストにも対応し、音声出力と接点出力をするように設定が可能。
- 出力接点の動作は、A・B 接点の切り替え、パルス・連続出力・音声出力連動の選択が可能。
- 発報内容をライン出力として音声出力が可能。
  （音声内容、およびパターンは、SH210-J に準拠）
- 音声出力開始ポイントは、接点動作タイミングに対してディレイ設定が可能。
- 音声出力する表現を、詳細・あいまい 1(カウントダウン有)・あいまい2(カウントダウン無）から選択が可能。
- 音声出力の冒頭に、緊急地震速報利用者協議会が推奨報知音としている「日本放送協会 (NHK) が制作した報知音」及び「特定非営利活動法人リアルタイム地震情報協議会（以下 REIC)」が作成した報知音を挿入することが可能。
- 音声及び接点出力の途中停止が可能。（CLEAR ボタンによる停止）
- キャンセル報受信時、接点動作をリセットすると共に「解除します。先ほどの地震速報は誤報です。」と音声出力。
- 接点 1・2・3・4、音声出力について個別の発報レベル設定が可能。
- 本製品単独および受信端末からのテスト発報が出来、接続動作確認が可能。
- 本製品の多段接続が 5 台まで可能。

※ 接続する受信端末が SH210-J 以外の場合、複数電文受信時の更新処理違いにより、発報途中の更新音声が受信端末本体と本製品出力音声では異なります。

3.　安全上のご注意

本取扱説明書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、本取扱説明書を熟読して下さい。特に「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解された上で本製品をお使い下さい。また、本取扱説明書は、本製品を使用中いつでもご覧になれるよう大切に保管して下さい。

■ 本製品の用途について

本製品は、一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途を言います。

- 原子力施設における核反応制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器等。

■ 注意

- 本製品には有寿命部品が含まれています。部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- 本製品の使用環境は、温度0～40℃（動作時）/－10～60℃（非動作時）・湿度10～80％ RH（ただし、結露しないこと）です。
- 本製品は、日本国内での使用を前提に製造されています。海外では使用出来ません。
- 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
- 本製品は受信端末より演算結果を受信し、動作を行なうシステム機器ですので、単独での緊急地震速報（予報）の受信と演算は出来ません。必ず当社が指定する別途受信端末を用意して下さい。また、情報受信に当たりましては、別途情報配信契約が必要になります。
- 接続する受信端末が SH210-J 以外の場合、複数電文受信時の更新処理違いにより、発報途中の更新音声が受信端末本体と本製品出力音声では異なりますのでご了承ください。
- 受信端末の子機では動作いたしません。
- 緊急地震速報（予報）のシステム上、発報が実際の地震到達に間に合わなかったり、予測数値に誤差が生じたり、また誤報を受信する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
- 本製品は、お客様の地震による被害を極力少なくするためのものであり、お客様の生命や財産を直接的に守るものではありません。
- 安定稼動させるために、定期点検を必ず実施して下さい。
- 実際に地震が発生した時のために、避難経路等を確認し、日頃から地震対策を十分に行なうよう周知して下さい。
- 緊急地震速報電文の受信、およびその情報を利用した各種制御は、受信者自身の自己責任でなされるものであり、弊社および販売元は、使用によって発生したいかなる損害（速報内容の誤報により生じた損害を含み、直接損害・間接損害の別を問わない）やその修理費用等に関して、一切の責任を負いかねますことをご了承下さい。

■ 安全にお使いいただくための絵記号について

本取扱説明書では、いろいろな絵記号を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを表しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性があることを表しています。

また、危害の内容がどのようなものかを表すために、上記の絵記号と同時に次の記号を使っています。

	この記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の横には、具体的な警告内容が示されています。
	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。記号の横には、具体的な禁止内容が示されています。
	この記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の横には、具体的な指示内容が示されています。

■ 設置されるとき

警告

	使用できる電源は交流 100 V (50/60Hz) です。 それ以外の電圧では使用しないで下さい。感電・火災の原因になります。
	同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないで下さい。 ケーブルやコンセントが過熱し、火災の原因になります。
	外部機器と接続する時は、専門業者へ依頼して下さい。 また、接続に当たっては、本取扱説明書および外部機器の取扱説明書の内容を理解し、正しく接続して下さい。 誤った接続状態でお使いになると感電・火災の原因となり、本体および外部機器が故障するばかりでなく、正しく動作させることが出来なくなります。

注意

	振動している場所や傾いた場所などの不安定な場所に置かず、確実に固定して下さい。また、重いものを上に載せないで下さい。 本製品の破損だけでなく、けがの原因になります。
	本製品の入出力端子への接続時、または本製品を移動する場合は、必ず AC アダプタをコンセントから抜いて下さい。 作業は十分注意して行なって下さい。 ケーブルが傷つき、感電・火災の原因や本製品が落下して、けがの原因になることがあります。

■ ご使用になるとき

⚠ 警告

	本製品をお客様ご自身で修理・分解・改造しないで下さい。 感電・火災の原因になります。修理や点検などが必要な場合は、弊社またはご購入された販売元にご連絡下さい。
	添付もしくは指定された物以外の AC アダプタを本製品に使わないで下さい。感電・火災の原因になります。
	電源プラグにドライバーなどの金属を近づけないで下さい。 感電・火災の原因になります。
	使用中の本体を布などで覆ったり、包んだりしないで下さい。内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
	AC アダプタは、次のことに注意してお取り扱い下さい。 感電・火災もしくは発熱によるやけどの原因になることがあります。 ・ 絶対に分解しないで下さい。 ・ 電源プラグは、根元までしっかり差し込んで下さい。 ・ 水を使用する場所、湿気、ほこりの多い場所で使用しないで下さい。 ・ 電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認してから差し込んで下さい。付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってから差し込んで下さい。また、濡れた手で触れないで下さい。 ・ 熱がこもるような環境で使用したり、放置したりしないで下さい。 ・ 上に物を置かないで下さい。 ・ 定格に沿ったコンセントを使って下さい。

	本製品は、水を使用する場所、湿気、ほこりの多い場所では使用しないで下さい。電気絶縁の低下によって感電・火災の原因になります。 また、本体内部にほこりが溜まることによって、精密部品の冷却を妨げ、故障ややけどの原因になります。
	ケーブル類は確実に配線し、傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、破損させるようなことはしないで下さい。 破損した状態でお使いになると感電・火災の原因になり、本体および外部機器が故障するばかりでなく、正しく動作させることが出来なくなります。
	本製品、ケーブルとも上に重量物を載せないで下さい。 また、熱器具のそばに設置、配線しないで下さい。 接続機器などの故障の原因になります。
	温度差のある場所へ移動し使用する場合、その温度差が大きい場合は、表面や内部が結露することがあります。 結露した状態で使用すると、発煙・感電・火災の原因になります。 使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用下さい。
	電波障害について、他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼすことがあります。 特に近くに影響を受けやすい機器などがある場合は、コンセントを別にするなど処置をして下さい。
	安定稼動させるために、本製品・接続機器・接続ケーブルなどシステム全般について、定期点検を必ず実施して下さい。

■ 異常や故障のとき

⚠ 警告

	本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて下さい。その後、異常な現象がなくなったことを確認して、弊社または販売元にご連絡下さい。異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因になります。
	本体の内部に水等の液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに AC アダプタをコンセントから抜いて下さい。その後、異常な現象がなくなったことを確認して、弊社または販売元にご連絡下さい。異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因になります。
	AC アダプタの電源ケーブル、電源プラグが傷ついている場合は使用しないで下さい。感電・火災の原因になります。

■ その他

⚠ 警告

	本製品は、一般事務所用、家庭用などへの一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途を言います。 ・ 原子力施設における核反応制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、等。

	本製品の廃棄については、一般廃棄物の扱いとなります。各地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従って下さい。本製品は「廃棄物の処理および清掃に関する法律」の規制を受けます。
	本製品は、お客様の地震による被害を極力少なくするためのものであり、お客様の生命や財産を直接的に守るものではありません。 実際に地震が発生した時のために、避難経路などを確認し、日頃から地震対策を十分に行なって下さい。
	緊急地震速報電文の受信、およびその情報を利用した各種制御は、受信者自身の自己責任でなされるものであり、弊社および販売元は、使用によって発生したいかなる損害（速報内容の誤報により生じた損害を含み、直接損害・間接損害の別を問わない）やその修理費用等に関して、一切の責任を負いません。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

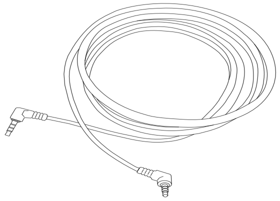
4.　構成部品

開封時に、以下の内容をご確認下さい。

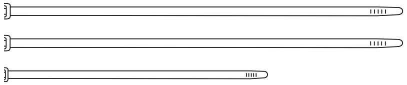
●本体及び標準付属品

・DPASS 拡張ユニット (SH220-J-O)・・1 セット

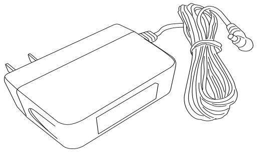
・SH220-J-O 専用ケーブル（4 極コネクタ）・・　1 本



・固定用タイラップ・・大 (L=140mm) 2 本、小 (L=80mm) 1 本



・DPASS 拡張ユニット (SH220-J-O) 用 AC アダプタ



・取扱説明書 (保証書含 ）・・1 冊 (本書)

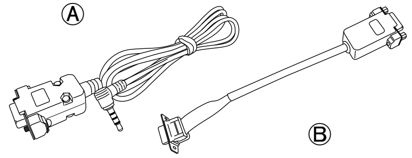
・バーコードラベル　　　　・・2 枚

●オプション品

※　接続する受信端末に SH200-J を使用する場合、別途以下を用意していただく必要があります。

・ SH200-J 専用ケーブル（Ⓐ 4 極 to D-SUB 9P、Ⓑ小型 D-SUB 9P to D-SUB 9P）

※ Ⓐ Ⓑセットでの提供となり、個別提供はいたしません。



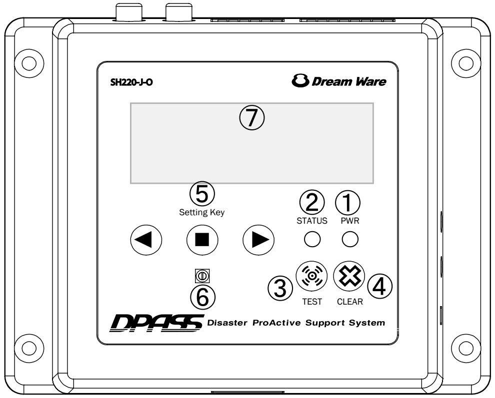
●オプション組み合わせ表（接続図は、P.38 ～ 45「9. 接続方法」参照）

受信端末 ＼ 必要部品（品番）	SH220-J-O 専用ケーブル（標準付属品）P0-140302-00	SH200-J 専用ケーブル（オプション品）Ⓐ P0-100305-00 Ⓑ P0-100306-00	拡張ユニット用 AC アダプタ（標準付属品）P0-030309-00
SH210-J　1 台目	○	-	○
2 台目	○	-	○
3 ～ 5 台目	○	-	○
SH200-J　1 台目	-	○	○
2 ～ 5 台目	○	-	○

（○：要、-：不要）

5. 各部の名称

5.1. 正面



① POWER LED ：電源ランプ（赤）

	SH210-J の場合	SH200-J の場合
消灯	電源が切れている状態	
点滅	受信端末がサービス解除状態 もしくは受信端末検出エラー	受信端末検出エラー
点灯	電源が入っている状態	受信端末検出成功

② STATUS LED：動作ランプ（緑）

	SH210-J の場合	SH200-J の場合
消灯	受信端末検出エラー （約 5 秒以上データ検出できない場合）	受信端末検出エラー （約 25 秒以上データ検出できない場合）
点滅（早）	DO/AF 出力時 （本製品動作時）	
点滅（遅）	接続している受信端末が各上位システムに対して通信エラー （SH210-J: 同軸ケーブル接続異常 / SH200-J: ネットワーク通信異常）	
点灯	通常待ち受け状態	

※ 接続する受信端末が SH200-J の場合、接続初回時に点滅から点灯になるまで最大約 3 分かかる場合があります。

③ TEST ボタン ：配信テストボタン（２秒長押し）

本製品、および外部接続機器の動作確認テストを行ないます。

発報内容は、震度 3、5 強、7(いずれも猶予時間は 20 秒）で、押すたびに順に発報します。

④ CLEAR ボタン：動作リセットボタン（２秒長押し）

・報知中の画面：接点出力、音声出力の動作停止を行います。

・通常画面：通常画面の時は音声は出力せず、接点出力のみ初期化します。「BUTTON CLEAR」画面表示

（CLEAR 画面は P.21 参照してください。）

⑤ 操作ボタン ：戻る･キャンセル（◀）、選択･決定（■）、下移動（▶）

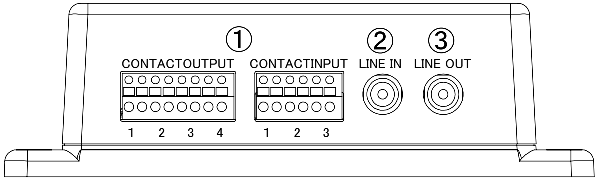
決定（■）約2秒長押しで、本体設定モードに移行します。左ボタンは戻る動作になります。右ボタンは下への移動、及び設定値変更を行います。変更したところで決定を押すと変更設定完了となります。

⑦ LCD ：端末状態及び端末設定などを表示します。

⑥ LO.Vol ：LINE OUT ボリューム調節

本体からの LINE OUT(AF 音声出力）の音量の調節を行います。

5.2. 上面



① DI/DO : 外部接点端子

・ DO(1/2/3/4)・・無電圧ループ接点出力。(極性無)

発報と同時に接点制御をさせる外部機器を接続します。

・ DI(1/2/3)・・有電圧ループ接点入力。

（極性有り、無電圧ループ接点入力対応）

DI に信号が入力された場合 DO 接点出力と連動して接点制御を行います。

② LINE IN : 音声入力用端子

LINE IN からの音声をそのまま LINE OUT へスルーパスします。

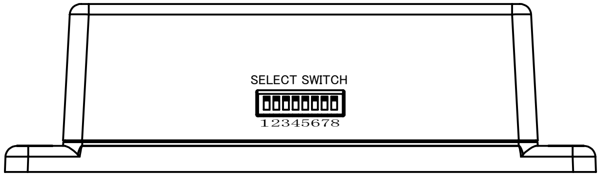
LINE IN から LINE OUT へ音声が流れている際に地震速報が発生すると LINE IN の音声を遮断し、緊急地震速報音声に切り替わります。

③ LINE OUT : 音声出力用端子

アンプなど放送設備に接続します。

LINE IN から LINE OUT へ音声が流れている際に地震速報が発生すると LINE IN の音声を遮断し、緊急地震速報音声に切り替わります。

5.3. 下面



● DIP スイッチ : 簡単設定（ON ↓、OFF ↑）

① DIP-1 : 訓練報の設定ができます。

「動作 (ON) / 非動作 (OFF)」

② DIP-2 : キャンセル報の設定ができます。

「動作 (ON) / 非動作 (OFF)/」

③ DIP-3、4 : 冒頭音の設定ができます。

「DIP3(ON)、DIP4(ON)」 ⇒ 無音

「DIP3(ON)、DIP4(OFF)」 ⇒ NHK

「DIP3(OFF)、DIP4(ON)」 ⇒ REIC

④ DIP-5、6 : 音声表現の設定ができます。

「DIP5(ON)、DIP6(ON)」 ⇒ 詳細

「DIP5(ON)、DIP6(OFF)」 ⇒ あいまい1

「DIP5(OFF)、DIP6(ON)」 ⇒ あいまい2

⑤ DIP-7、8 : 受信端末設定ができます。

「DIP7(ON)、DIP8(ON)」⇒ SH210-J

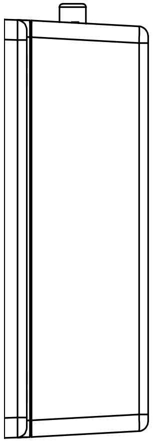
「DIP7(ON)、DIP8(OFF)」 ⇒ SH210-J(テスト非動作)

「DIP7(OFF)、DIP8(ON)」 ⇒ SH200-J

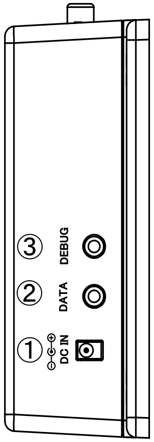
「DIP7(OFF)、DIP8(OFF)」 ⇒ DPASS-PC

5.4. 側面

（左）



（右）



① POWER IN　：電源アダプタ端子

本製品指定の AC アダプタを接続します。

② DATA IN　：受信端末接続端子

受信端末の診断コネクタと接続します。

(SH200-J との接続の場合、RS-232C 端子と接続します。)

または多段接続時、既設の本製品の DEBUG 端子（③）と接続します。

③ DEBUG　：多段接続用端子

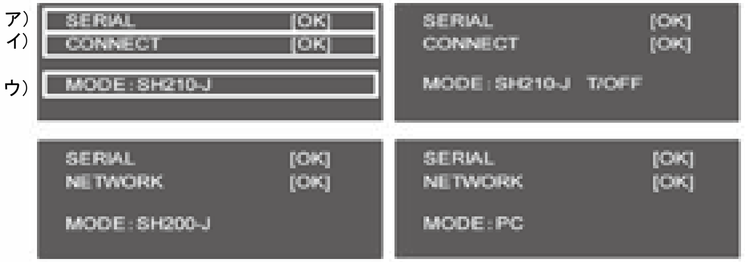
本製品を複数設置する場合に、この端子から追加する製品に接続します。

6.　LCD 画面表示＆操作

● LCD 画面表示

① 電源投入後、ブート画面

② 起動完了後の通常画面（ビープ音出力）



ア）SERIAL　：受信端末シリアル通信接続状況表示
- NG：受信端末検出エラー
- OK：受信端末検出成功

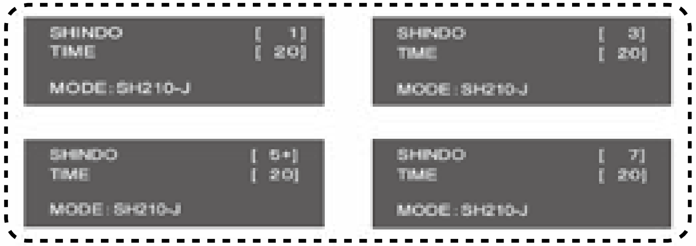
イ）CONNECT/NETWORK：上位システムの通信接続状況表示
- NG：接続している受信端末が上位システムに対して通信エラー（SH210-J 同軸ケーブル接続異常、SH200-JLAN ケーブル接続異常）
- OK：通信成功後、通常の待受け状態

ウ）MODE：接続する受信端末表示
- SH210-J
- SH210-J(T/OFF)
- SH200-J
- PC

③ 端末動作画面（※報知終了後 60 秒後通常画面に戻ります。）

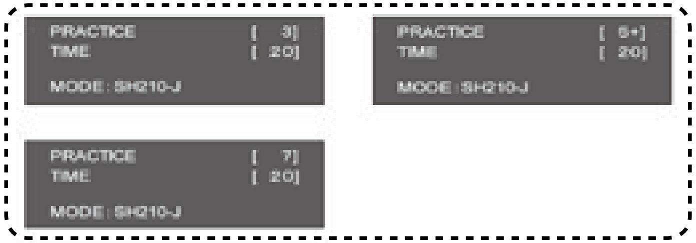
※ LCD 画面は動作レベルの設定値（DO-LEVEL）以上の場合表示します。

ア）地震受信時の画面表示 (SHINDO)



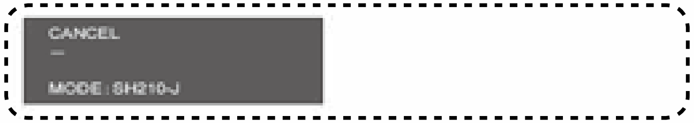
・SHINDO/TIME ： 震度 / 猶予時間表示

イ）訓練報受信時の画面表示（PRACTICE）

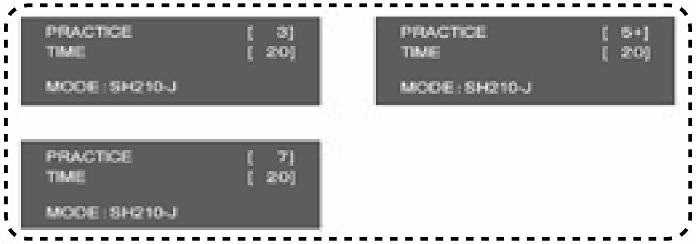


・PRACTICE/TIME ： 訓練報の震度 / 猶予時間表示

ウ）キャンセル報受信時の画面表示

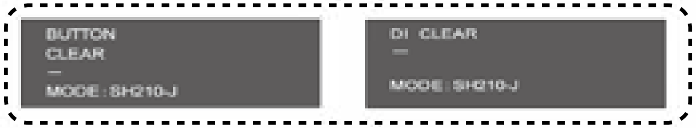


エ） TEST ボタンでの画面表示（PRACTICE）



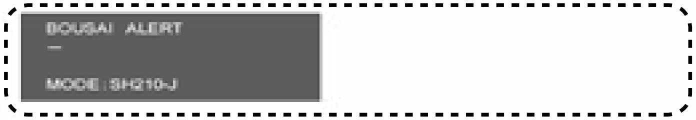
・PRACTICE/TIME ： 訓練報の震度 / 猶予時間表示
※訓練報の画面表示と同様

エ） DI CLEAR / CLEAR ボタンの画面



・CLEAR ボタン操作時の画面 / DI CLEAR 時の画面

オ）その他の画面

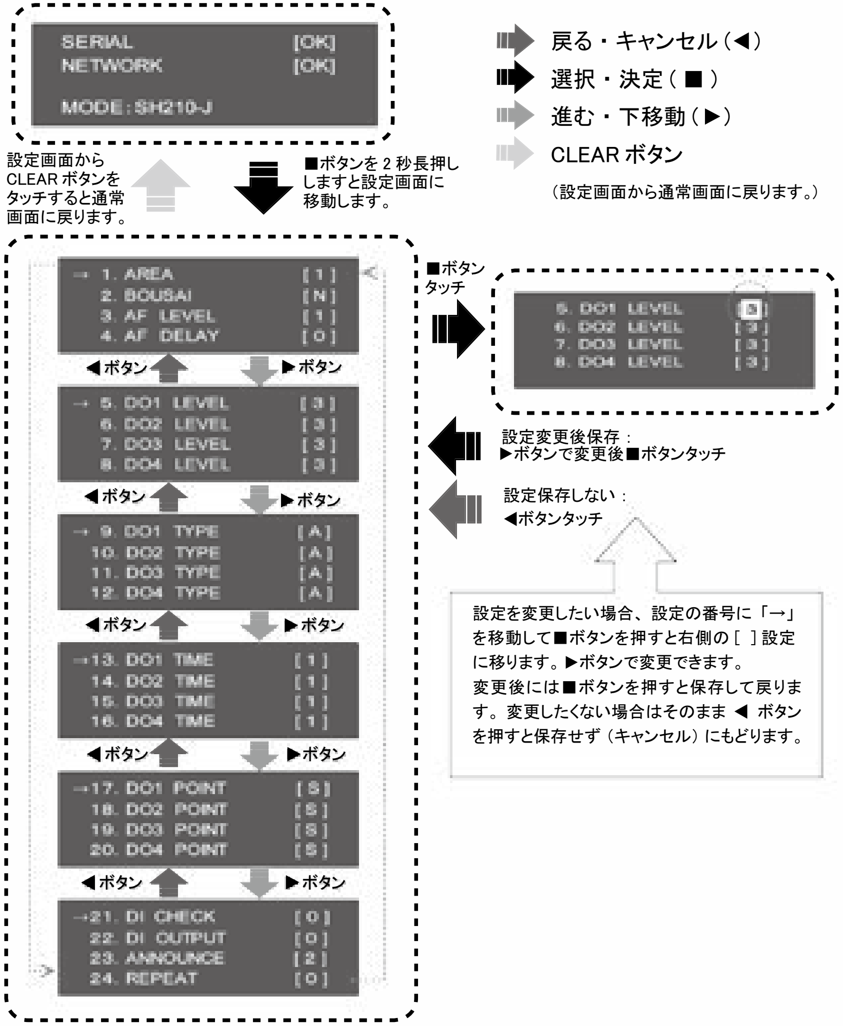


・防災情報受信時の画面表示
演算装置管理アプリ（CCM）から送信可能

④ 端末ランプ動作による画面表示

機器状態		ランプ		
		赤ランプ（PWR）	緑ランプ（STATU）	
通常待機モード SH210-J/SH210-J T-OFF	親機とのシリアルケーブル接続異常	点滅	消灯	SERIAL [NG] CONNECT [NG] MODE : SH210-J
	親機同軸ケーブル接続異常	点灯	点滅 遅い点滅 （1 秒）	SERIAL [OK] CONNECT [NG] MODE : SH210-J
	異常なし	点灯	点灯	SERIAL [OK] CONNECT [OK] MODE : SH210-J
通常待機モード SH200-J/PC	親機とのシリアルケーブル接続異常	点滅	消灯	SERIAL [NG] CONNECT [NG] MODE : SH200-J
	ネットワーク通信異常	点灯	点滅 遅い点滅 （1 秒）	SERIAL [OK] CONNECT [NG] MODE : SH200-J
	異常なし	点灯	点灯	SERIAL [OK] CONNECT [OK] MODE : SH200-J
地震受信（共通）	－	点灯	点滅 速い点滅 （0.5 秒）	SHINDO [5-] TIME [100] MODEL : SH210-J

⑤ 端末設定操作画面表示



7. 設定

※ 動作をしている途中で設定変更を行ないますと、正常動作を継続しない場合がございます。
必ず、設置時の稼動前もしくは待ち受け状態のときに設定を行なって下さい。

●LCD画面設定

1）：本製品の動作エリア No を設定（AREA）

A：area A	1：area 1	2：area 2	3：area 3	4：area 4
5：area 5	6：area 6	7：area 7	8：area 8	9：area 9

・ SH210-J との接続のときに認識させたいエリア No を設定します。

※ SH200-J との接続の場合、この機能は無効になります。

2）：防災（BOUSAI）

・演算装置（EMC-SH210）からの防災データを受信することができます。

（EMC-SH210 ⇒ SH210-J ⇒ SH220-J-O）

ON：受信する	OFF：受信しない

3）：音声出力の動作レベルを設定（AF LEVEL）

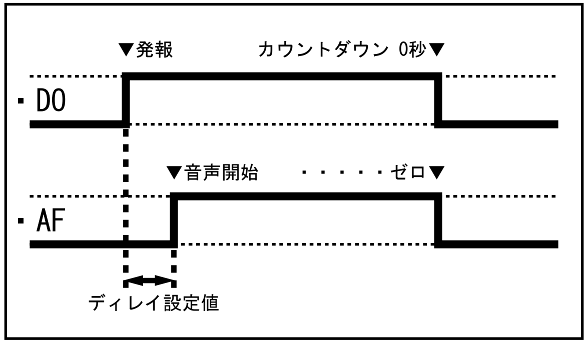
0：(震度 3)	1：震度 1	2：震度 2	3：震度 3	4：震度 4
5：震度 5 弱	6：震度 5 強	7：震度 6 弱	8：震度 6 強	9：震度 7

・設定震度以上で動作をするようになります。

4）：音声出力開始ポイントのディレイ設定（AF DELAY）

0：0sec	1：1sec	2：2sec	3：3sec	4：4sec
5：5sec	6：6sec	7：7sec	8：8sec	9：9sec

・ DO の出力タイミング (発報時) に対して音声出力開始タイミングを遅らせる場合に設定します。



※ 開始タイミングを遅らせた秒数の分、音声として読み上げる猶予時間は短くなります。

※ 既に発報 (音声出力) を行なっている場合の更新発報動作の場合、ディレイは行ないません。

5）：DO1 の動作レベルの設定（DO1 LEVEL）
6）：DO2 の動作レベルの設定（DO2 LEVEL）
7）：DO3 の動作レベルの設定（DO3 LEVEL）
8）：DO4 の動作レベルの設定（DO4 LEVEL）

C：キャンセル報のみ	1：震度 1	2：震度 2	3：震度 3	4：震度 4
5：震度 5 弱	6：震度 5 強	7：震度 6 弱	8：震度 6 強	9：震度 7

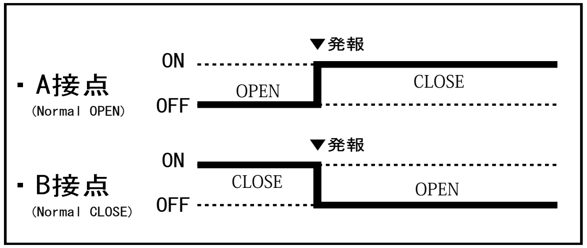
・ 設定震度以上で動作をするようになります。

※ SH200-J V1.6xでご利用の場合は､SH200-J の設定震度以上にしてください。
SH200-J の設定震度より低い震度設定では動作いたしません。

・ 0に設定した場合は、直前で報知動作した地震IDと一致したキャンセル報受信時のみ動作します。ただし、DIP_7 を OFF に設定している場合は、0に設定していてもキャンセル報に反応せず動作しません。

9）：DO1 の接点リバースを設定（DO1 TYPE）
10）：DO2 の接点リバースを設定（DO2 TYPE）
11）：DO3 の接点リバースを設定（DO3 TYPE）
12）：DO4 の接点リバースを設定（DO4 TYPE）
接点出力方式設定（DO1/2/3/4 個別設定 ）

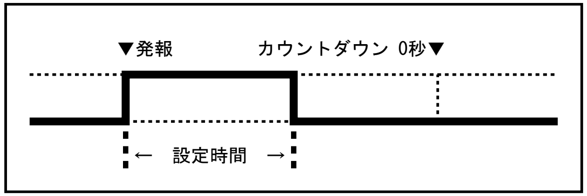
A：A 接点 (Normal OPEN)	B：B 接点 (Normal CLOSE)



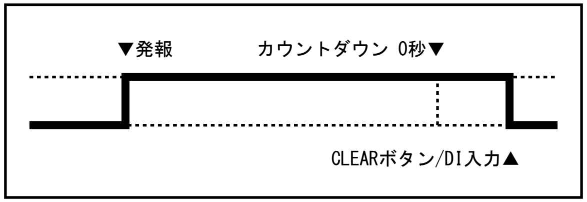
13）：DO1 の動作時間の設定（DO1 TIME）
14）：DO2 の動作時間の設定（DO2 TIME）
15）：DO3 の動作時間の設定（DO3 TIME）
16）：DO4 の動作時間の設定（DO4 TIME）

0：300ms	1：1sec	2：5sec	3：10sec	4：30sec
5：60sec	6：90sec	7：120sec	8：連続	9：AF 連動

・１～７を選択すると設定の時間のみ出力動作します。
※ 猶予時間より設定時間が長い場合は、0 秒を超えても動作します。



・8 の「連続」を選択すると発報と同時に出力動作を開始して、CLEAR ボタン、もしくは DI での入力が無い限り動作維持します。



・9 の「AF 連動」を選択すると DO1，DO2，DO3，DO4 それぞれにおける動作レベル以上の場合、発報と同時に出力動作を開始し、音声出力が終了すると同時（カウントダウン０の時）に出力動作を解除します。DO1，DO2，DO3，DO4 それぞれにおける動作レベルを下回っている場合は、AF 連動にしても動作しません。

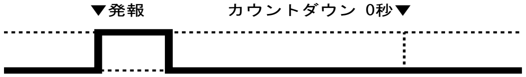
※ カウントダウン終了前にキャンセル報が来た場合は、出力動作を維持しますが、カウントダウン終了後にキャンセル報が来た場合は、出力動作いたしません。

注意事項： SH200-J（親機）の配信テスト動作途中で CLEAR ボタンで中止した場合、AF 出力から「訓練を終了します。」の音声が出力されますので注意してください。

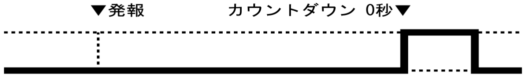
17）：DO1 の接点出力ポイントの設定（DO1 POINT）
18）：DO2 の接点出力ポイントの設定（DO2 POINT）
19）：DO3 の接点出力ポイントの設定（DO3 POINT）
20）：DO4 の接点出力ポイントの設定（DO4 POINT）

S：発報開始時	E：発報終了（カウントダウン 0）時

・発報開始時設定



・発報終了時設定



※AF連動の場合、適用されませんのでご注意ください。

21）：DI 入力確認（外部入力接点端子）

・DI（DI1/DI2/DI3）入力：有電圧ループ接点入力。
（極性有り、無電圧ループ接点入力対応）

・DI1（接点クリア）：入力信号から DO の接点及び音声出力の動作を停止させることができます。（DI1 にスイッチなどを接続して信号入力）
※ P.46 の外部機器との接続例をご参照ください。

・DI2/DI3：外部接点入力端子からトリガー設定（1点、2点）以上の接点入力があった場合、指定した接点出力ポート DO（DO1/2/3/4）へ連動させて接点を出すことができます。

22）：DI 連動出力

・21)のDIの外部入力を接点出力ポート(DO1, 2, 3, 4)へ連動させる設定を行います。
※ DO_TIME 設定 1 ～ 8（パルスと連続）には適用されますが、設定 9（AF 連動）には適用されませんので、DO_TIME を確かめてから設定を行ってください。

23）：アナウンス音

・10 種類の中から選択ができます。

・報知終了後選択したアナウンス音が出力されます。

※基本設定は「2. 揺れが収まるまで身を守ってください。」になっています。
使用しない場合は 24）の繰り返し回数を「0」に設定してください。

0. 安全が確認されるまで外には出ないでください。
1. 安全確認のため皆様に、一旦この場所から外へご退場頂きます。
2. 揺れが収まるまで、身を守ってください。
3. 強い揺れに備えてください。
4. 机の下に隠れて身を守ってください。
5. 窓やドアを開け避難経路を確保してください。
6. 指定の避難場所に避難してください。
7. 倒れやすいものに近づかないでください。
8. 上から落ちてくるもの倒れてくるものから身を守ってください。
9. 指示が出るまでそのまま待機してください。

24）：繰り返し回数

・23）の連動設定としてアナウンス音声の繰り返し回数を設定します。

・「0」はアナウンス音声を使用しない設定になり、1 ～ 9 は回数の選択となります。

0：使用しない	1：1 回	2：2 回	3：3 回	4：4 回
5：5 回	6：6 回	7：7 回	8：8 回	9：9 回

●ディップスイッチ

・ No1：訓練報動作設定（DO1/2/3/4 共通）

・気象業務支援センターからの訓練報に対しての動作を選択します。

・SH210-J との接続の場合は、FSK 変調装置からのテスト報に対しての動作も含みます。

ON：動作	OFF：非動作

※ ON(動作)に設定しても、外部出力中は訓練報での更新動作はいたしません。

※ SH210-J との接続で気象業務支援センターからの訓練報に対応するには、CATV 局で設置しているマルチエリア予測演算装置 (EMC-SH210) が機能対応している必要があります。(Ver 1.3.1 は対応不可。)

・ No2：キャンセル報の動作可否設定

・キャンセル報を受信した際に動作させるかを選択します。

ON：キャンセル報動作	OFF：キャンセル報非動作

OFF（非動作）にすると、キャンセル報に対して一切動作いたしません。
ON（動作）にしても、直前で報知動作した地震IDと一致しない場合は動作しません。（※工場出荷時はOFFです）

・ No3 ～ 4：冒頭音選択

・冒頭報知音を「無音 / NHK / REIC」から選択できます。

冒頭音選択	無音	NHK	REIC
DIP 3	ON	ON	OFF
DIP 4	ON	OFF	ON

※ ただし、NHK 報知音は地震演算結果が震度 5 弱～ 7 の場合のみ報知

※ 震度1～ 4 はドリームウェア報知音が代わりになります。

・ No5 ～ 6：音声出力表現設定

・以下の音声が選択できます。

①詳細（受信端末同等）　②あいまい 1（受信端末同等）

③あいまい 2（あいまい 1 からカウントダウンと震度レベル表現を除いた音声）

・また、DIP スイッチ 3 ～ 4 の冒頭音を選択して発報冒頭に NHK/REIC 報知音の挿入する選択が出来ます。

スイッチ設定パターン

DIP/ 表現	詳細	あいまい1	あいまい2
DIP 5	ON	ON	OFF
DIP 6	ON	OFF	ON

※音声出力表現内容については P.32 をご参照ください。

・ No7 ～ 8：接続する受信端末の設定

・受信端末により DIP スイッチの設定が異なりますので、必ず設置する前にご確認ください。

・受信端末が SH210-J の場合は側面のボリュームスイッチによるテスト報を受信させたくない場合は、「DIP7/8：ON/OFF」に設定してください。

・受信端末が SH200-J の場合は Ver1.6.X 以上のみ本機器と接続できます。

受信端末設定	SH210-J	SH210-J ※テスト非連動	SH200-J	PC
DIP 7	ON	ON	OFF	OFF
DIP 8	ON	OFF	ON	OFF

選択表現別音声内容（※記号については、下記【略称表示説明】参照）

冒頭音	音声出力表現	開始音声	途中繰り返し音声	最終音声
無音	詳細	「地震＿震度●＿△秒後」	10 秒刻みで「震度●＿△秒後」と途中「★オリジナル報知音」	カウントダウン
	あいまい 1	「地震＿◆＿◎」	10 秒刻みで「◆＿◎」と途中「★オリジナル報知音」	カウントダウン
	あいまい 2	「地震＿◎」	「地震＿◎」+「★オリジナル報知音」	－
REIC	REIC- 詳細	「Ⓡ＿地震＿震度●＿△秒後」	詳細同様	カウントダウン
	REIC- あいまい 1	「Ⓡ＿地震＿◆＿◎」	10 秒刻みで「Ⓡ＿◆＿◎」と途中「★オリジナル報知音」	カウントダウン
	REIC- あいまい 2	「Ⓡ＿地震＿◎」	「Ⓡ＿地震＿◎」＋「★オリジナル報知音」	－
NHK	NHK- 詳細	「NHK＿地震＿震度●＿△秒後」	詳細同様	カウントダウン
	NHK- あいまい 1	「NHK＿地震＿◆＿◎」	10 秒刻みで「NHK＿◆＿◎」と途中「★オリジナル報知音」	カウントダウン
	NHK- あいまい 2	「NHK＿地震＿◎」	「NHK＿地震＿◎」＋「★オリジナル報知音」	－

【略称表示説明】

●：気象庁震度階級の「震度 1 ～ 7」	△：猶予時間 詳細とあいまい1：読み上げ音声 50 秒～1秒 あいまい2：読み上げ音声　～1秒
◆：震度階級あいまい表現 ・震度1～3の場合「小さな揺れが」 ・震度4～5強の場合「物が倒れるぐらいの揺れが」 ・震度6弱～7の場合「命にかかわるほどのゆれが」	◎：猶予時間あいまい表現 ・0～19秒の場合「すぐに来ます」 ・20～29秒の場合「まもなく来ます」 ・30秒以上の場合「もうまもなく来ます」
★：「オリジナル報知音」 ・震度1～3の場合「ビ・ビ」(2 秒毎) ・震度4～5強の場合「ビ」(1 秒毎) ・震度6弱～7の場合「ビ・ビ・ビ」(1 秒毎)	Ⓡ：REIC 報知音 ・震度 / 時間にかかわらず同一 NHK：NHK 報知音 ・震度1～震度4：ドリームウェアチャイム 3 回 ・震度 5 弱～震度7：NHK チャイム 2 回
※ 訓練報、及びテスト動作の際は、全ての冒頭に「配信テストです」と挿入します。	

※ 猶予時間の短い地震（猶予時間3秒、2秒、1秒）もしくは通過地震（0秒～「-9秒」）の場合は AF ディレイを行なったことによって、「開始音声」報知中にじっ実際の地震カウントの終了時間を過ぎてしまった場合でも、音声は最後まで報知完了し終了します。告知アナウンス設定している場合は告知アナウンスまで報知完了して終了します。

「地震及びテストの報知内容纏め」

地震区分	報知内容
通常地震	選択表現別音声内容参照
キャンセル報	取り消します。先ほどの地震速報は誤報です。
訓練報	選択表現別音声内容「地震」の代わりに「配信テストです」を挿入します。
訓練キャンセル	訓練を終了します。（※ SH210-J のみ対応）
TEST ボタン	動作確認テストです。震度●△秒後 。。。
TEST ボタン動作後 CLEAR ボタン	テスト終了です。
上位テスト配信動作後 CLEAR ボタン	訓練を終了します。（※ SH200-J、EMC-SH210 からのテスト配信）
地震報知中の後 CLEAR ボタン	地震速報を取り消します。

●制限事項および注意点

制限事項

※ SH200-J との接続の場合、LCD 画面設定の「エリア No 設定」、「防災設定」については、設定が無効になります。

※ LCD 設定「DO の動作レベルの設定」で「0:キャンセル報のみ」を選択した場合、「DO の動作時間の設定」は、パルス出力 (0 ～ 7) と AF 連動 (9) のみ有効になります。(連続 (8) に設定しても DO の動作はいたしません。)

※ LCD 画面の地震表示は音声出力の動作レベル設定（AF LEVEL）以上の地震のみ表示します。

※ LCD 設定「DO の接点出力ポイントの設定」で「E:発報終了時」を選択した場合、「DO の動作時間の設定」はパルス出力 (0 ～ 7) のみ有効になります。(連続 (8) と AF 連動 (9) に設定しても DO の動作はいたしません。)

※「DO の動作時間の設定」について「9:AF 連動」を選択している場合、「DO の動作レベルの設定 : DO LEVEL」と「音声出力の動作レベルを設定 : AF LEVEL」は、以下の条件により設定値が反映されます。

1. AF LEVEL より DO LEVEL が低い (未満の) 場合は、AF LEVEL のみが有効。
2. AF LEVEL より DO LEVEL が高い (以上の) 場合は、AF/DO それぞれ個別設定が有効。

注意点

※ AF OUT からの音声は、AF 動作レベル設定以上であれば他の設定をとわず出力します。

※ CLEAR ボタンの動作は DO の接点と音声をクリア（リセット）をします。

音声出力は　・地震速報報知又は終了後は「緊急地震速報を取消ます。」
　　　　　　・訓練報報知中又は終了後は「訓練を終了します。」
　　　　　　・ボタンテスト報知中は「テストを終了します。」

通常画面時には無音で、音声出力ははありません。

※ DI1 の入力も CLAER ボタンと同じく DO の接点と音声をクリア（リセット）します。音声の出力はありません。

※ 動作の優先順位

①地震速報およびキャンセル報＞②訓練報および訓練キャンセル報＞
＞③ CLEAR ボタン＞④ TEST ボタン＞⑤防災音声 (CATV 受信端末のみ)

※ 地震速報で動作中のときは、テスト動作を受付けません。また、動作中（接点出力中、音声出力中には設定の変更ができませんので、設定変更の際には動作していないことをご確認の上設定を変更してください。

※ 更新動作は以下の条件を元におこないます。

1. DO/AF それぞれに対して動作レベル以上の場合。
2. 報数に伴い、予測震度レベルが異なる場合 (動作レベル以上に限ります)。
3. 報数に伴い、予測震度レベルが同一であっても猶予時間に3秒以上の差でより短くなった場合。

※ 接続する受信端末が SH210-J 以外の場合、複数電文受信時の更新処理違いにより、発報途中の更新音声が受信端末本体と本製品出力音声では異なります。

8.　スイッチ設定一覧

● LCD 画面設定一覧

LCD 画面設定 \ Select-No		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	初期値
1	AREA	A	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1
2	BOUSAI	ON	OFF									ON
3	AF LEVEL	0(3)	1	2	3	4	5 弱	5 強	6 弱	6 強	7	3
4	AF DELAY	0sec	1sec	2sec	3sec	4sec	5sec	6sec	7sec	8sec	9sec	0sec
5	DO1 LEVEL	C ※1	1	2	3	4	5 弱	5 強	6 弱	6 強	7	3
6	DO2 LEVEL	C ※1	1	2	3	4	5 弱	5 強	6 弱	6 強	7	3
7	DO3 LEVEL	C ※1	1	2	3	4	5 弱	5 強	6 弱	6 強	7	3
8	DO4 LEVEL	C ※1	1	2	3	4	5 弱	5 強	6 弱	6 強	7	3
9	DO1 TYPE	A	B									A
10	DO2 TYPE	A	B									A
11	DO3 TYPE	A	B									A
12	DO4 TYPE	A	B									A
13	DO1 TIME	300ms	1sec	5sec	10sec	30sec	60sec	90sec	120sec	連続	AF 連動	1sec
14	DO2 TIME	300ms	1sec	5sec	10sec	30sec	60sec	90sec	120sec	連続	AF 連動	1sec
15	DO3 TIME	300ms	1sec	5sec	10sec	30sec	60sec	90sec	120sec	連続	AF 連動	1sec
16	DO4 TIME	300ms	1sec	5sec	10sec	30sec	60sec	90sec	120sec	連続	AF 連動	1sec
17	DO1 POINT	S	E									S
18	DO2 POINT	S	E									S
19	DO3 POINT	S	E									S
20	DO4 POINT	S	E									S
21	DI CHECK	無	1 点以上	2 点以上								無
22	DI OUTPUT	出力無	DO1	DO2	DO3	DO4						出力無
23	ANNOUNCE	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	2
24	REPEAT	0 ※2	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回	9 回	0

※初期値は工場出荷時の設定値を表します。何も変更しない場合は初期値で動作をします。

※1　C ＝キャンセル報のみ動作

※2　REPEAT を「0」にした場合はアナウンス音を使用しないことになります。（P.29 の２４）をご参照ください。）

●ディップスイッチ設定一覧（ ↓ ON 、↑ OFF）

DIP スイッチ \ Select-No		ON		OFF	備考
DIP-1	訓練報	動作		非動作	取説 P.20 参照
DIP-2	キャンセル報	動作		非動作	取説 P.20 参照
	（種別）	無音		NHK	REIC
DIP-3	冒頭音選択	ON		ON	OFF
DIP-4	冒頭音選択	ON		OFF	ON
	（種別）	詳細		あいまい 1	あいまい 2
DIP-5	表現選択	ON		ON	OFF
DIP-6	表現選択	ON		OFF	ON
	（種別）	SH210-J	SH210-J（テスト非動作）	SH200-J（Ver1.6X 対応）	DPASS-PC
DIP-7	接続する受信端末設定	ON	ON	OFF	OFF
DIP-8	接続する受信端末設定	ON	OFF	ON	OFF

※ SH200-J は Ver1.6.X にのみ対応しております。Ver1.5.X には対応しませんので、ご注意ください。

9.　接続方法

9.1.　SH210-J (CATV 受信端末) との接続

9.1.1.　[SH210-J] 一台目の接続手順

1. 受信端末に接続している AC アダプタはそのままにしてください。
2. 受信端末と本製品の以下コネクタを、本製品付属の専用ケーブルを使い接続して下さい。

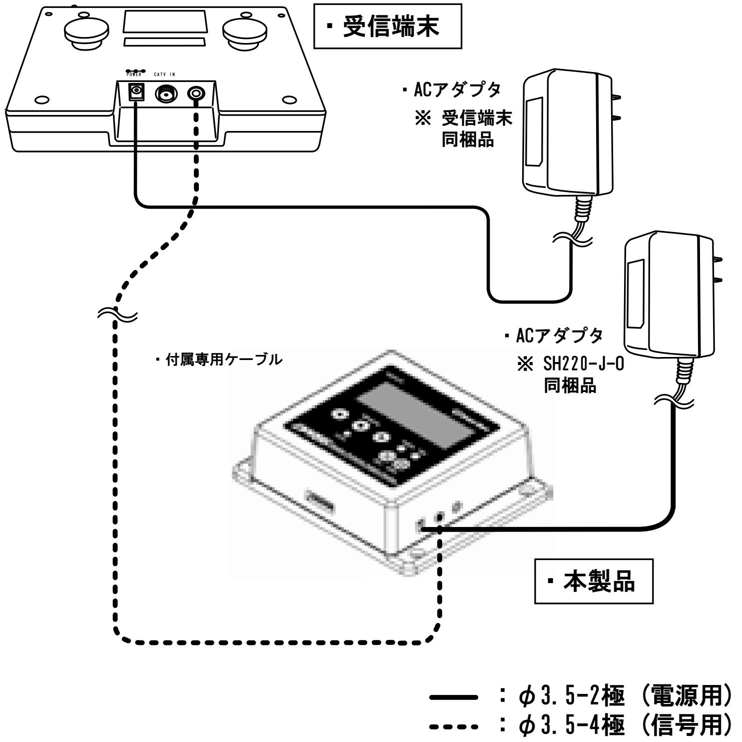
専用ケーブルコネクタ形状	受信端末		本製品
φ 3.5 4 極ジャック	「診断コネクタ部」(無印刷)	↔	「 DATA IN 」

3. 外部制御を行なう機器を各端子 (DI / DO / LINE OUT) へ接続します。
   ※ DO/DI の端子は、スクリューレスプッシュ式ですので、接続の際は電線の被覆をむいてそのまま挿入して下さい。
   ※ 接続可能電線は、AWG26 ～ 20 の範囲でご使用ください。電線被覆剥きしろは、8 ～ 9mm です。
   ※ DO1/2/3/4 端子は、定格電圧 (38V) を超える電圧は与えないでください。故障の原因となります。また、誘導性負荷（モーターや機械式リレーなど）を直接接続する場合は十分な逆起電力対策・サージ吸収対策を講じてください。
   (接点抵抗値は、OPEN : 600 MΩ以上 /　CLOSE : 0.7 Ω以下です。)
   ※ DI1/2/3 端子は、無電圧ループ接点と接続してください。
   OPEN 時、3.6V ～ 4.0V の電圧がでています。CLOSE 時約 5mA の電流が流れます。
   接続回路の抵抗は 50 Ω以下に収まるようにしてください。
   ※ LINE OUT の定格は、RCA-MONO,2.5Vp-p(+4.2dBs)(最大),10K Ω不平衡です。

   ※ DO(1/2/3/4) は無電圧ループ接点の為、接続する機器については、本製品に接続する前に必ず接続する電線末端で短絡 / 開放テストを行ない、接続機器単独での動作確認をし、問題が無いことを確認して下さい。
   ※ 定格入力は厳守して下さい。

4. 本製品の設定を行ないます。(DIP スイッチ 7 番 ON, 8 番 ON にしてください。)
5. 本製品の右側の DC IN に付属の AC アダプタを接続して電源を入れます。
6. 本製品の LED(赤 / 緑) が点灯すれば、正常待ち受け状態となりますので TEST ボタンで外部制御機器が連動動作を行なうか確認して下さい。

9.1.2.　[SH210-J] 一台目の接続図



9.1.3.　[SH210-J] 多段接続のときの接続手順

1. 1 台目の「拡張ユニット」に接続している AC アダプタをコンセントより取り外し、拡張ユニットの電源を切ります。
2. 本製品の以下コネクタを、本製品付属の専用ケーブルを使い接続して下さい。
（ 多段接続は、本製品の合計数 5 台まで対応可能 ）

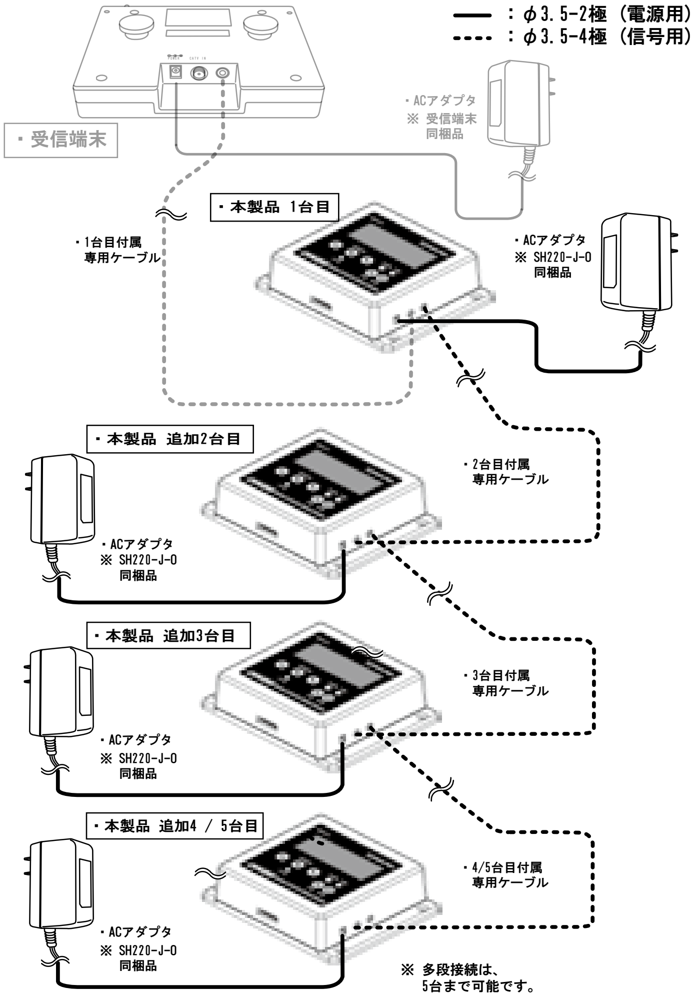
専用ケーブルコネクタ形状	1 台目の本製品		2 台目の本製品
φ 3.5 4 極ジャック	「 DEBUG 」	↔	「 DATA IN 」

※ 全て個別に電源供給を行ないます。

3. 外部制御を行なう機器を各端子 (DI / DO / LINE OUT) へ接続します。
(各端子の定格を確認の上、接続を行なって下さい。)
4. 本製品の設定を行ないます。
※ 受信端末設定 DIP スイッチ 7 番 ON, 8 番 ON 又はにしてください。
5. 1 で外した AC アダプタをコンセントに挿入し電源を入れます。
(1 台目から順番に AC アダプタを挿入し電源を入れてください。)
6. 接続している本製品の LED(赤 / 緑) が点灯すれば、正常待ち受け状態となりますので各々 TEST ボタンで外部制御機器が連動動作を行なうか確認して下さい。

※多段接続の場合、上位の段で SH210-J T/OFF モードの場合は下段の全ての端末は設定に関係なく親機からのテストは受信しません。
例）41 ページの 1 台目に SH210-J/TEST　OFF にしている場合は 2/3/4/5 台目全て SH210-J からのボタンテストは受信しません。

9.1.4.　[SH210-J] 多段接続のときの接続図



9.2. SH200-J (IPv4 受信端末) との接続

9.2.1. [SH200-J] 一台目の接続手順

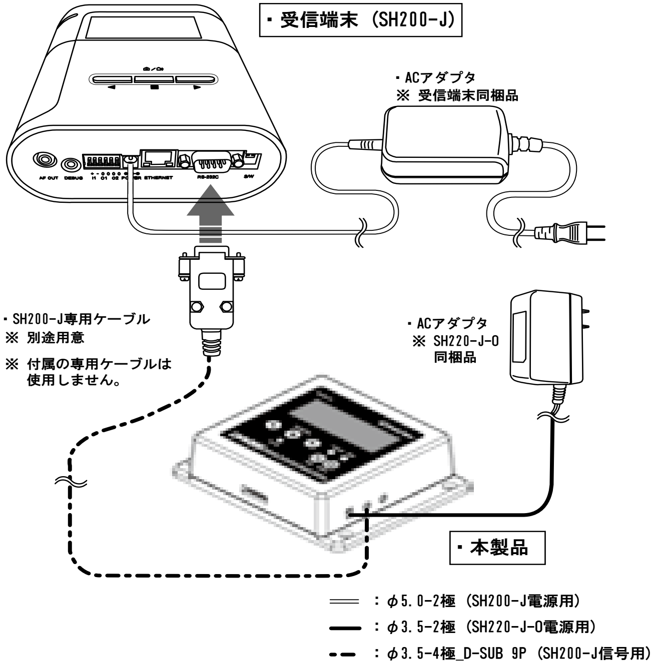
※ SH200-J に対して本製品を使用する場合、SH200-J 専用ケーブルが必要です。
別途ご購入ください。

1. SH200-J の RS-232C(D-SUB 9P) コネクタ部の透明保護カバーを取り外します。
2. SH200-J 専用ケーブルを使い、SH200-J の RS-232C(D-SUB 9P) コネクタ部と本製品の「DATA IN」を接続して下さい。
   ※ SH200-J の設置に壁掛けブラケットを使用する場合は、SH200-J 専用ケーブルのⒶのみを使用して接続してください。スタンドを使用する場合は、SH200-J 専用ケーブルⒶとⒷの両方を使用してください。(Ⓑの小型 D-SUB 9P 側を SH200-J に接続。)
   ※ RS-232C(D-SUB 9P) コネクタは接続後、コネクタ両サイドのスクリューを締め確実に接続して下さい。
3. 外部制御を行なう機器を各端子 (DI / DO / LINE OUT) へ接続します。
   ※ DO/DI の端子は、スクリューレスプッシュ式ですので、接続の際は電線の被覆をむいてそのまま挿入して下さい。
   ※ 接続可能電線は、AWG26 ～ 20 の範囲でご使用ください。電線被覆剥きしろは、8 ～ 9mm です。
   ※ DO1/2/3/4 端子は、定格電圧 (38V) を超える電圧は与えないでください。故障の原因となります。また、誘導性負荷（モーターや機械式リレーなど）を直接接続する場合は十分な逆起電力対策・サージ吸収対策を講じてください。
   (接点抵抗値は、OPEN : 600 MΩ以上 / CLOSE : 0.7 Ω以下です。)
   ※ DI1/2/3 端子は、無電圧ループ接点と接続してください。
   OPEN 時、3.6V ～ 4.0V の電圧がでています。CLOSE 時約 5mA の電流が流れます。
   接続回路の抵抗は 50 Ω以下に収まるようにしてください。
   ※ LINE OUT の定格は、RCA-MONO,2.5Vp-p(+4.2dBs)(最大),10K Ω不平衡です。

   ※ DO(1/2/3/4) は無電圧ループ接点の為、接続する機器については、本製品に接続する前に必ず接続する電線末端で短絡 / 開放テストを行ない、接続機器単独での動作確認をし、問題が無いことを確認して下さい。
   ※ 定格入力は厳守して下さい。

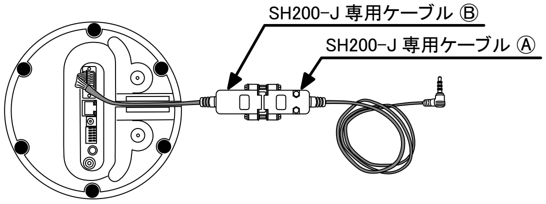
4. 本製品の設定を行ないます。(DIP スイッチ 7 番 OFF, 8 番 ON にしてください。)
5. 本製品の右側の DC IN に付属の AC アダプタを接続して電源を入れます。
6. 本製品の LED(赤 / 緑) が点灯すれば、正常待ち受け状態となりますので TEST ボタンで外部制御機器が連動動作を行なうか確認して下さい。
   ※ SH200-J の場合、緑 LED が点灯に変わるまで最大約 3 分かかる場合があります。

9.2.2. [SH200-J] 一台目の接続図



●スタンドを使用して受信端末を設置している場合

※ 別途用意した SH200-J 専用ケーブルⒶⒷを以下のように接続してご使用ください。



9.2.3. [SH200-J] 多段接続のときの接続手順

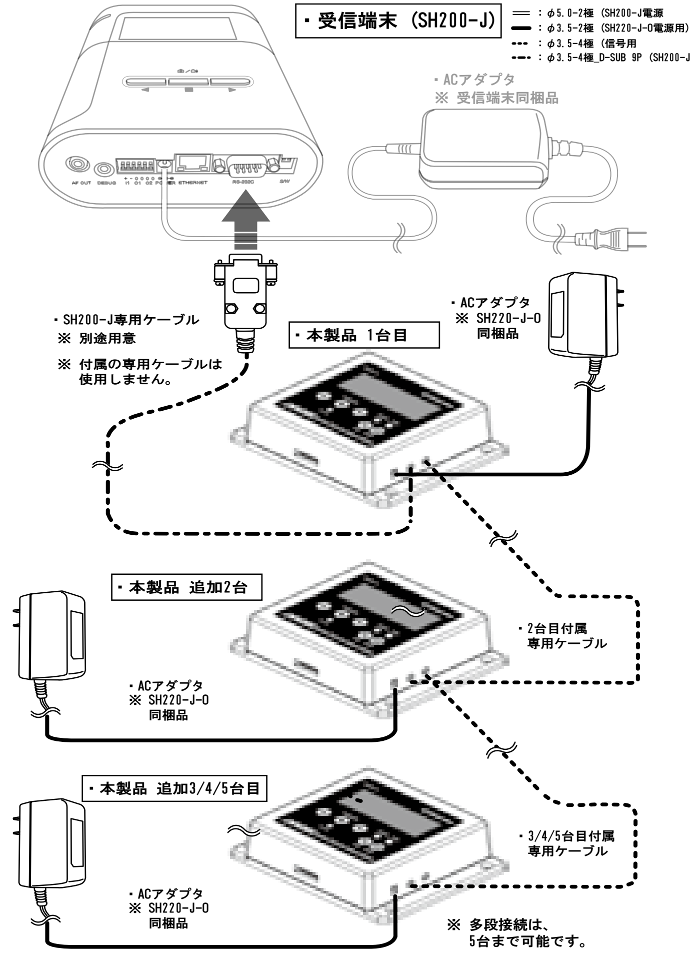
1. 1 台目の「拡張ユニット」に接続している AC アダプタをコンセントより取り外し、拡張ユニットの電源を切ります。
2. 本製品の以下コネクタを、本製品付属の専用ケーブルを使い接続して下さい。
（ 多段接続は、本製品の合計数 5 台まで対応可能 ）

専用ケーブルコネクタ形状	1 台目の本製品		追加する本製品
φ 3.5 4 極ジャック	「 DEBUG 」	↔	「 DATA IN 」

※ 全て個別に電源供給を行ないます。

3. 外部制御を行なう機器を各端子 (DI / DO /LINE OUT) へ接続します。
（ 各端子の定格を確認の上、接続を行なって下さい。）
4. 本製品の設定を行ないます。
※ 受信端末設定 DIP スイッチ 7 番 OFF，8 番 ON にしてください。
5. 1 で外した AC アダプタをコンセントに挿入し電源を入れます。
(1 台目から順番に AC アダプタを挿入し電源を入れてください。)
6. 接続している本製品の LED(赤 / 緑) が点灯すれば、正常待ち受け状態となりますので各々 TEST ボタンで外部制御機器が連動動作を行なうか確認して下さい。
※ SH200-J の場合、緑 LED が点灯に変わるまで最大約 3 分かかる場合があります。

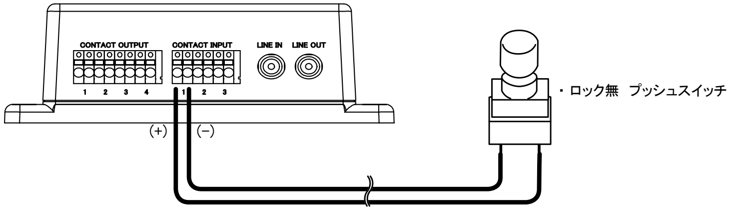
9.2.4. [SH200-J] 多段接続のときの接続図



9.3.　外部機器との接続図 (例)

※ 以下は、例として記載いたします。設置環境 / 設備に応じて適切に接続して下さい。

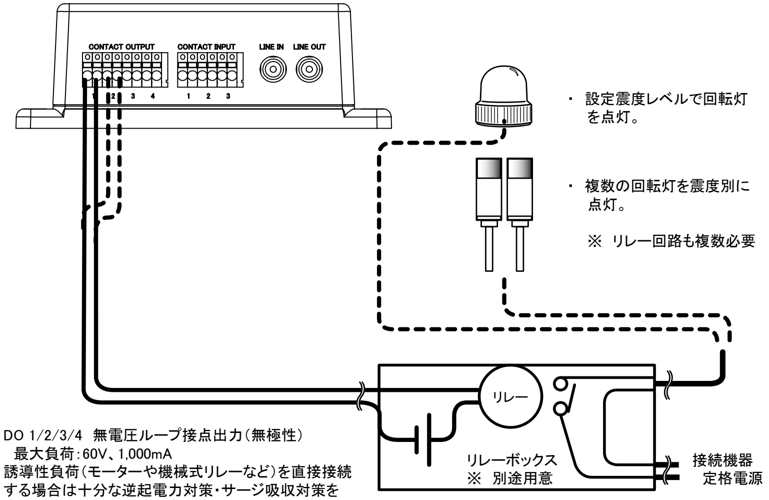
9.3.1.　DI1/2/3 接点出力



D1 1/2/3 有電圧ループ接点入力
定格5v（OPEN時）、5mA（CLOSE時）以下
（動作配線抵抗値：50Ω 以下）
※ 極性有、無電圧ループ接点入力対応

9.3.2.　DO1/2/3/4 汎用回転灯

（使用電圧・電流が本製品の定格よりも大きい場合、もしくは電源制御端子がない場合。）



・ 設定震度レベルで回転灯を点灯。

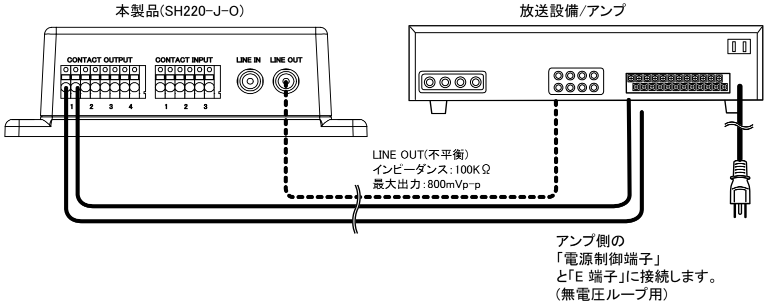
・ 複数の回転灯を震度別に点灯。

※ リレー回路も複数必要

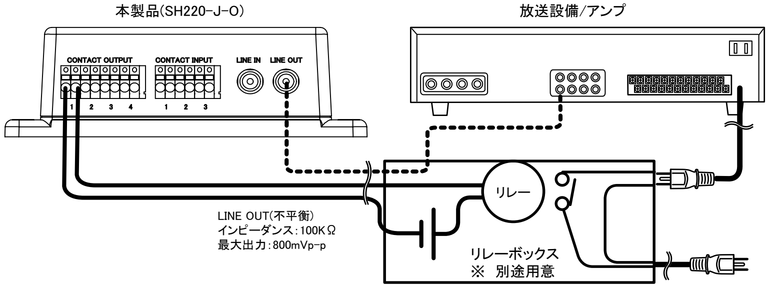
DO 1/2/3/4　無電圧ループ接点出力（無極性）
最大負荷：60V、1,000mA
誘導性負荷（モーターや機械式リレーなど）を直接接続する場合は十分な逆起電力対策・サージ吸収対策を講じてください。

9.3.3.　DO1/2/3/4 放送設備

・電源制御端子付の場合



・電源制御端子無の場合



●放送設備との接続時の注意点

※ 外部機器からの電源制御が可能かどうか、また接続端子 (場所) などについて、詳しくはご使用の放送設備の取扱説明書をご参照下さい。

※ ご使用になる設置環境で本製品の出力レベルをボリューム調整できますが、不足する場合は、放送設備 / アンプとの間にラインレベルで増幅可能なミキサーアンプなどを別途ご用意下さい。

※ 本製品からの音声出力に併せて放送設備 / アンプの電源を ON/OFF させる場合、DO 動作時間の設定（DO　TIME）を「AF 連動（9）」にして下さい。

※ ご使用になる放送設備 / アンプの起動時間に合わせ、音声出力開始ポイントのディレイ（AF　DELAY）設定を行なって下さい。この設定が適切でないと音声の頭切れが生じてしまいます。

10. 仕様

DPASS 拡張ユニット 本体 ≪ SH220-J-O ≫			
名 称			DPASS 拡張ユニット
品 番			SH220-J-O
本体外形寸法			巾 155.6mm、高さ 45mm、奥行き 125.6mm （突起部除く）
重 量			340g
電源電圧			AC100V （50/60Hz） DC6V-600mA
温湿度条件			操作時 0 ～ 40℃ 非動作時 -10 ～ 60℃ 湿度 10 ～ 80%RH 結露なきこと
消費電力			待受 0.25W 最大 0.5W
通信方式			シリアルデータ送受信方式
出 力	外部制御出力	(DO 1/2/3/4)	無電圧ループ接点出力（A 接点、B 接点設定可能） 定格電圧：38V、最大ピーク電圧：60V 定格電流：1000mA、最大ピーク電流：1000mA 抵抗値：OPEN 時 600M Ω以上、CLOSE 時 0.7 Ω以下
	外部音声出力	(LINE OUT)	RCA-MONO, 出力電圧（最大）: 2.5Vp-p (+4.2dBs), 出力インピーダンス : 10K Ω不平衡
	信号出力	(DEBUG)	TTL レベル、多段接続時の信号出力
入 力	電源	(DC IN)	AC100V （50/60Hz） / DC6V-600mA
	外部音声入力	(LINE IN)	RCA-MONO, 入力電圧（最大）: 1.2Vp-p, 入力インピーダンス : 33K Ω不平衡
	信号入力	(DATA IN)	TTL レベル、受信端末親機と接続（SH200-J の場合は、RS-232C 端子と接続）
	外部接点入力	(DI1/2/3)	有電圧ループ接点入力(定格5v(OPEN時)、5mA(CLOSE時)以下、動作配線抵抗値:50Ω以下)
機 能	エリア選択		設置エリア選択 ※ SH210-J との接続時のみ有効になります。
	発報震度レベル変更		気象庁震度階級 1 ～ 7 の間で個別設定 ※ 接点出力（DO）に限りキャンセル報での動作選択も可能
	発報表現選択		詳細、あいまい1（カウントダウン有）、あいまい2（カウントダウン無）
	冒頭音選択		NHK（震度1～4はオリジナル音、震度5弱～7は NHK 音）、REIC、無音選択
	告知アナウンス選択		地震発報終了後、避難誘導音声の設定可能
	外部制御出力動作方式選択		A 接点 /B 接点
	動作制御時間選択		出力時間選択：無 /300ms/1s/5s/10s/30s/60s/90s/120s/ 連続 /AF 連動 出力方式選択：地震発報時出力、地震発報終了後出力、
	音声出力ディレイ時間選択		0/1/2/3/4/5/6/7/8/9sec 選択
	音声出力内容変更機能		詳細 / あいまい 1(カウントダウン有) / あいまい 2(カウントダウン無) 表現選択 上記各設定に対して発報冒頭に REIC 報知音の 挿入 / 未挿入 の選択
	音声スルー機能		LINE IN 音声をそのまま LINE OUT へスルーパスする機能 緊急地震速報が発生した場合、LINE IN からの音声を遮断し LINE OUT から緊急地震速報の音声を報知する。(LINE IN からの音声から LINE OUT の音声に切り替わる) 報知終了後には LINE IN からの音声を再開する機能
	テスト発報		震度レベル 3 段階 震度 3、5 強、7、（各猶予時間固定 20 秒） ループ ※各出力の発報レベル設定に準じて発報
表示 / 操作音	LCD 部	(INFORMATION)	設定情報を表示
	赤 LED	(PWR)	電源供給状態、およびハードウェア接続状態の確認
	緑 LED	(STATUS)	同軸ケーブル / ネットワーク接続状態及び地震電文受信の確認
	ブザー		ボタンの操作確認音
接続コネクタ	電源		外径：6mm, 内径：2mm
	LINE OUT		RCA ピンジャック
	LINE IN		RCA ピンジャック
	DEBUG-SERIAL		φ 3.5 4 極ジャック
	DATA-SERIAL		φ 3.5 4 極ジャック
	DO		スクリューレス 3.5mm ピッチ
	DI		スクリューレス 3.5mm ピッチ

切り取り線

11. 保証書

本書は、保証規定の範囲で無料修理させていただくことをお約束するものです。

保証期間内に故障が発生した場合は、弊社に修理をご依頼の上、本書をご提示下さい（ご提示の際は、必ず複写した物を保管してください）。※保証期間中においても出張修理は行ないません。

保証書、バーコードラベルは、いかなる場合においても再発行いたしませんので、紛失なさらないように大切に保管して下さい。本保証書は、個人情報も記載されておりますので、保証書の保管はお客様の責任において行なって下さいますようお願いします。

本保証書は、本保証書に記載された内容により、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

MODEL		SH220-J-O	
シリアル		（同梱のバーコードラベルを貼付してください。）	
お客様 設置場所	ご住所		
	お名前		
	電話		
	E-mail		
販売業者	販売業者（設置工事業者）名・住所・電話番号		
保証期間		年 月 日 より	一年間

株式会社ドリームウェア

P0-140401-00(SH220-J-O)

12. 保証規定

保証期間内に正常なる使用状態において、製造上または部品が原因で異常が発生した場合には、弊社の責任において保証いたします。

保証期間内に異常が発生し、検査が必要となった場合は、保証書をご提示の上、弊社または販売元にご依頼下さい。検査ご依頼時の送料等の諸経費は、お客様のご負担となります。また、検査や保証修理等で使用出来ない期間、地震速報を受信できなかったことを原因とする一切の損害費用の補償はいたしません。

本製品は、保証書に記載している事項が正しい場合のみ、上記事項に定めた保証をいたします。間違った取り付けや接続、その他の改造等をした場合は、保証の対象外となります。

下記事項については、保証の対象とはなりませんのでご注意下さい。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の所定事項の未記入、または字句を書き換えられた場合、および使用者の変更が発生した場合。
3. 取扱説明書に記載された内容とは異なる方法で使用した場合の作業上の事故・故障および損傷。
4. 取扱説明書に記載されてある注意事項の不徹底により発生した場合の作業上の事故・故障および損傷。
5. ご使用上の誤り（水等の液体こぼれ、落下、水没）または改造して設置した場合の故障および損傷。
6. 本製品と併用して使う外部制御機器の異常が原因による故障および損傷。
7. 使用により生じた傷や塗装等の外見上の変化、および化学薬品の付着による表面処理の変化、および変質。
8. ユーザー登録した以外の場所に設置している場合。
9. お買い上げ後の輸送や移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適切な為に生じた事故および損傷。
10. 火災・地震・風水害・落雷その他の天変地異、および公害・煙害・異物混入・塩害・盗難・事故等による故障および損傷。
11. 有寿命部品や消耗品の自然消耗・摩耗・劣化等により部品の交換が必要になった場合。
12. 故障および損傷原因が本製品以外にある場合。
13. 付属品。
14. 開封禁止シールを剥したり、切れている場合。
15. 1 ～ 14 以外で弊社の責に帰することができない原因により生じた故障および損傷。

本製品に対する保証は前記の範囲に限られます。

本書記載の方法によりその目的が達成できるかどうかに係わらず、いかなる損害（地震速報を受信できなかったことによる損失、逸失利益、保存されていた情報の消失、事業の中断、データの消失、収益の損失、使用上の損害、またはそれ以外のいかなる種類の商業上または経済上の損失、特別損害、偶発的損害、間接損害、付随的損害、派生的損害を含む）について一切の責任を負いません。そのような損害が生じる可能性について、弊社が以前から警告を受けていたとしても損害に対する責任を負うことはありませんので、あらかじめご了承下さい。

本保証書は、日本国内において使用することのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

13. その他

・ 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一不審な点や誤り等、お気づきのことがありましたらご連絡下さい。
・ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
・ 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは著作権法上、弊社に無断で使用できません。
・ 本製品の仕様、価格、外見等は改良等により予告なく変更することがあります。
・ 本製品は、日本国内での使用を前提に設計したものです。海外では使用しないで下さい。
・ 本書に記載されている社名や商品名は各社の登録商標または商標です。
・「DPASS」とは、Disaster ProActive Support System の頭文字をとったもので「災害対策支援システム」を意味し、弊社の登録商標です。

No	発行日付	履歴	備考
1	平成 25 年 9 月	初版	
2	平成 26 年 3 月	第二版	接点関連説明の修正（16、28、46、47、48ページ）
3	平成 27 年 7 月	第三版	LINE IN/OUT の説明修正 (P38, 40, 42, 44, 48), 外部制御出力の記述追加 (P48)
4			
5			
6			

株式会社ドリームウェア

当社ホームページでは、各商品の最新情報などを提供しております。

当社ホームページ　http://www.dpass.jp/

使用方法などでご不明な点がございましたら、下記へご相談ください。

E-mail : 1nf0@dpass.jp

（対応は、平日 10:00 ～ 17:00　土 / 日 / 祭日 / 年末年始を除く）

Ⓒ 2009-2015 Dream Ware Inc.

P0-140401-00(SH220-J-O)